会 議 録

1 会議名

令和6年度 第7回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 諮問事項（公開）

- ・諏訪地区公民館の移転について

3 開催日時

令和7年2月17日（月）午後7時から午後7時27分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：相澤委員、池田委員、川上(賢)委員、佐藤(恵)委員、佐藤(祐)委員、
澤海委員、寺田副会長、西嶋委員、星野委員、山田会長（欠席2名）
- ・教育委員会事務局：社会教育課 宮崎参事、竹内副課長
- ・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【井守副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【山田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【井守副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【山田会長】

- ・会議録の確認：澤海委員に依頼

次第3 議題「(1) 諮問事項」の「諏訪地区公民館の移転について」に入る。

本日は、市から地域協議会へ「諏訪地区公民館の移転について」の諮問が行われ、これについて答申する。諮問・答申の進め方について、事務局に説明を求める。

【井守副所長】

委員就任当初、地域協議会委員の役割は二つあると説明した。一つは委員による自主的な審議、もう一つが市長からの諮問事項に対する答申である。

答申とは、市議会の議決が必要な諏訪区内の施設の設置や廃止、市の主要計画の策定等について、市長が政策判断の参考とするため、内容の良し悪しではなく、地域住民の生活に及ぼす影響の観点から審議し、その結果を市長に返すというものである。

本日は、市社会教育課から「諏訪地区公民館の移転について」の諮問がなされる。

答申までの手順は、まず、担当課から諮問内容について説明後、委員からの質問や意見を伺い、挙手にて意思を確認する。なお、諏訪区では、第1回地域協議会の協議で、「会長は投票権無し。ただし、可否同数の場合に決定する権限を有する」としている。

また、答申理由の整理、附帯意見の有無も確認する。地域住民の生活に「支障あり」と答申する場合は、その理由をまとめる。「支障なし」と答申する場合でも、地域住民等に配慮してほしいことや懸念されることを意見として附することができる。

【山田会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

意見が無いようなので、続いて社会教育課の説明を求める。

【社会教育課 宮崎参事】

- ・資料No.1に基づき説明
- ・名称は、新たに移転する先が「諏訪地区公民館」となり、現在の公民館は「旧諏訪地区公民館」となる。
- ・学びの多様化学校において給食とするかお弁当にするかにかかわらず、ランチルームの利用予定はないため、1階部分は公民館施設として有効活用していく。
- ・駐車場の整備、ランチルームの活用方法、施設機能などについては、設計の段階で具体的な形を示した上で、改めて諏訪区の住民の意見を伺い詳細を決定していく。

【山田会長】

ただ今の説明について、質問、意見を求める。

【佐藤(祐)委員】

公民館活動で調理する場所について、学校の給食室等を活用せずに、新たに調理室を設置するのか。

【社会教育課 宮崎参事】

調理室を含め、現在の公民館に備わっている機能、公民館として必要な機能をそのまま新しい公民館に移していくという考えで進めていく。

【山田会長】

金谷地区公民館が近々オープンすると伺ったが、どのようなスケジュールで進んでいたのか。

【社会教育課 宮崎参事】

3月の中旬に、新しい金谷地区公民館がオープンする予定。諏訪地区公民館の件で示したスケジュールと大体同じで、設計におおむね1年ぐらい要した。

最初に、地域の代表の方、町内会の方、利用される方に設置場所などの意見を伺う時間を半年程要し、施設の大体のレイアウトである基本設計が終わった段階で一度、金谷地区の住民や公民館を利用している方に意見を伺い、次に、その意見を取り入れた形で実際に建築に入るための実施設計を行った。建設を含め大体1年半から2年ぐらいのスパンで進んだ。

諏訪地区公民館については、今後約1年かけて設計していくが、その段階で委員も含めて意見を伺い、改修していく設計を経て、令和9年度の開館を予定している。

【山田会長】

地域の方たちといろいろ協議したと思うが、意見は活発に出たのか。

【社会教育課 宮崎参事】

基本的に公民館は市が設置する施設になるので、市として、こういう建物にしたいという考えを提示した後、利用者から公民館の利用方法を伺いながら、細かい内容の変更をしていく。

例えば、金谷地区公民館の場合は、集会室として広い部屋が2つあるが、そこを土足にするのか、しないのかという課題があった。その部屋はヨガの団体等が利用し、体を動かして横になったりするため、土足はやめてほしいとの意見があった。当初は、その

まま入室する仕組みで考えていたが、最終的には、内履きに履き替えて入室することとした。また、中と外がつながってイベントなどでも利用できる空間も欲しいとの意見があり、テラスを造ることで外からも入れるように変更した。

【西嶋委員】

現在の諏訪地区公民館は、老朽化により雨漏りが発生している。この建物を移転までの間、利用できる状態に修繕してほしい。

【社会教育課 宮崎参事】

皆さんが現在利用しており、移転するとは言え数年は残る施設なので、他の公民館と同様に必要な修繕をしていく。

【山田会長】

他に質問、意見はあるか。

(発言無し)

質問、意見が無いようなので、答申について採決を行う。

諏訪地区公民館の移転について、「諏訪区の住民生活への支障無し」とすることに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

全会一致で「諏訪区の住民生活への支障無し」と答申することに決定した。

次に附帯意見について確認する。附帯意見について、事務局の説明を求める。

【井守副所長】

答申に当たり、地域住民の生活に配慮してほしいことや、懸念されることなどを答申の文書に意見として附して、市長に提示することができる。

【山田会長】

ただ今の説明について、質問を求める。

(発言無し)

質問が無いようなので、次に、附帯意見について確認する。

【西嶋委員】

なるべく早急に移転整備を進めていただきたい。

【山田会長】

なるべく早めに移転ができるよう、スケジュールを組んでいただくことを附帯意見としてよいか。

(よしの声)

【西嶋委員】

小学校の前の道路は交通量が多いので、安全に地域の人と生徒が集える施設であってほしい。また、高齢者や子ども、地区全体の誰もが利用しやすい施設にしてほしい。

【山田会長】

具体的に、交通安全に対してどのように考えるか。

【西嶋委員】

玄関の位置を見直してはどうか。

【山田会長】

これまでの審議を踏まえ、諏訪地区公民館の移転について、次の3つの主旨の附帯意見を附すこととし、文言は正副会長で整理することでよいか。

- ・現在の公民館は老朽化が進んでいるので、移転整備を早急に進めてほしい。
- ・施設の立地や交通量を加味し、地域の人と生徒が安全に集える施設となるよう配慮してほしい。
- ・高齢者や子どもたちの誰もが、地区全体の人たちが利用しやすい施設になるよう配慮してほしい。

賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

全会一致で附帯意見を附すことを確認した。

【井守副所長】

附帯意見の内容は正・副会長預かりとし、文言整理の上、答申書を作成する。意見の内容については、次回の地域協議会で報告する。

【山田会長】

以上で次第3 議題「(1) 諮問事項」の「諏訪地区公民館の移転について」を終了する。

次に、次第3 議題「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

(発言無し)

意見が無いようなので、以上で次第3 議題「(2) その他」を終了する。

次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【井守副所長】

次月、委員研修を実施予定。市からの報告案件等がある場合は、地域協議会を開催することとする。

【山田会長】

以上で次第4その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4その他の「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【井守副所長】

先月の地域協議会で「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）の設置について」の諮問・答申を行った。

これについて、令和8年4月1日に設置することとし、市議会3月定例会に条例案を提出する旨、教育総務課から報告の文書が届いたことを報告する。文書は後日、委員に送付する予定。

【山田会長】

他に何かあるか。

(無しの声)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。